

UP19K-50W-W5-D0

最大50 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



主な特長

モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加: 5つの異なる冷却モジュール

超高損傷閾値

平均出力密度100 kW/cm²

コンパクトデザイン

たった21 mmの厚さ (15S モデル)

エネルギーモード

最大200 Jのシングルショットエネルギーを測定

スマートインターフェース

すべての校正データを収容

互換性のあるスタンド

[STAND-S-233](#)

仕様

測定性能

最大平均出力(連続) ¹	50 W
最大平均出力(1分) ²	85 W
ノイズ等価出力 ³	1 mW
スペクトル領域 ⁴	0.193 - 10 μm
標準上昇時間 ⁵	1.4 sec
標準出力感度 ⁶	0.65 mV/W
出力校正不確か率 ⁷	±2.5 %
繰り返し性	±0.5 %

- 最低冷却流量0.5リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
- 最低冷却流量0.5リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
- 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
- 校正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
- 予測付。
- 100 kΩ負荷。最大出力電圧 = 感度 × 最大出力。
- 出力による線形性を含む。

測定性能(エネルギーモード)

標準エネルギー感度	0.33 mV/J
最大測定可能エネルギー ¹	200 J
ノイズ等価エネルギー ²	0.02 J
最小繰り返し期間	5 s
最大パルス幅	133 ms
エネルギー校正不確か率 ³	±5 %

- 360 μsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
- 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
- 単発エネルギー校正をお求めの場合

損傷閾値

最大平均出力密度 ¹	100 kW/cm ²
最大エネルギー密度 ²	1.1 J/cm ²

1. 1064 nmで、10 W CW。
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。

物理的特徴

開口直径	19 mm
吸収材	W
寸法	76.5H x 50W x 35.5D mm
重量	0.24 kg

注文情報

UP19K-50W-W5-D0	200337
UP19K-50W-W5-BLU-D0	203661
UP19K-50W-W5-INT-D0	203049
UP19K-50W-W5-IDR-D0	203357

本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

gentec-eo.com/ja/contact-usで最寄りのセールス担当者をお探してください